

革新懇の三つの共同目標

- ①経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

鳥取県革新懇ニュース

No. 61

2020年12月
2021年1月
合併号

〒680-0811 鳥取市西品治806（鳥取県労連気付）
TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172

新庁舎を活かすには 職員の意識改革から

江府町長 白石祐治（しらいしゆうじ）さん



新庁舎建設で議場を廃止した江府町。県内で最も人口が少ない町で二期目を迎えた白石町長に、町行政の抱負について伺いました。

（聞き手：錦織陽子、佐々木康子）

◇二期目としては是非やりた
いと思われていないのは

一期目というのは目の前
に抱えていた懸案を片付け
ていくというのが仕事だと
思うんですね。

二期目は新庁舎が1月に
オープンしますので、軌道
に乗せるというのがまず
一つあります。職員も、こ
ういう場所では仕事をし
てませんから、しかも今ま
で4カ所バラバラで仕事
やっていますから、それが一
つになったときに、やはり、
住民サービスをよくしてい
かないと、「何だおまえら、
いい所に入って何をやって

るんだ」みたいな話になる
んで、まずそこをやりたい
です。（職員の）意識を変
えて、一緒になったんだか
ら、もつとサービスをよく
できるようにやりましょ
う、職員意識というか
行動からとにかく変えてい
くというのが一番、この庁
舎を活かすということでは
なかつたことは、住民の人
が集まりやすいように議場
もつくらなかったんですけ
れど、議場もそのときだけ
集めてやる、あとは公民館
になるっていうものなん
ですが、そういう使い方がど
んどんされていくようなも
のに仕向けたいんです。バ

スもターミナルをここに持つ
てくるんで、ここに人が集
まって来るような形のものを
したい。これを軌道に乗
せるっていうのがまず一つ。
もう一つは、スキームの件
もまだ結論が出ていません
い、ワークシヨップとか
開いて、周年の利用をする
にはどうすればいいのかな
どやっています。いろんな所
に行つて調査をやつていて、
コロナ後の世界にお客さん
に来ていただけるようなも
のにしようかと、今研究し
ていますので、それを二期
目の間に形にしたいという
のが二点目です。

三つ目が、新たな話なん
ですが、181号線沿いの
江府インターを降りたところ
に、昔パチンコ屋があつ
て、30年ぐらい潰れたまま
の残骸が残つていたんです

けど、そこを町がかなり安
く買うことが出来て、これ
から議会に具体的な提案を
していくんですが、基本的
には集合住宅なり個別住宅
なりをそこにつくつていい
のかなと。民間に設計から
建設から後の管理まで、単
純な町営住宅ではない形
（PPP方式）をやつてい
ただくようなことを今、考
えています。具体的話は
12月議会以降に詰めていく
んですけど、私の構想で
は、令和5年度から入れるつ
ていうぐらいのスケジュ
ルでいきたいです。

江府町には町営住宅が30
戸しかありません。移住定
住とか人が来られても住む
ところがないんで、日野町
とか、よそに行かれるつて
いうケースもあります。空
き家も発掘してはいますが、
なかなか難しいんです。譲
らない人、またかなり古く
て、これでは住めませんと
いうのもありますし、若い
人は空き家にはなかなか住
みません。空き家も平行し
てやるんですけど、新し
い住宅、しかも公が出てい
つてある程度初期投資、例え
ば地方創生交付金とか、あ
と過疎債とか使つて、家賃
を下げるようなことを考え
ています。そうすると、イン
ターのすぐ近くなので、こ
れなら米子にも通えるとな
る。住んでいただけるかな
ど。保育料は無料なので、
米子で高い保育料払うん
だつたら、こつちに住んで通
うかみたい、そんなのがい
いかなど。

昭和34年11月28日生まれ
昭和53年3月 米子東高校卒業
昭和57年3月 神戸大学法学部卒業
昭和57年4月 鳥取県入庁（企業立地課長、東京本部副部長、
環境立県推進課長等歴任）
平成25年4月 江府町副町長就任
平成28年3月 退職
平成28年8月 江府町町長に就任

次に行きたいこととい
うのが、今も少しやつてい
るんですが、保育料は無償化
にしても小学校になったと
きに出て行かれる人もい
るんです。なので、教育なん
です。令和4年度からは義
務教育学校にします。小中
一貫です。保育園、小学校、
中学校は一つずつしかない
んで、その一つ軸を通し
たような教育をやりたいと
思っています。で、ふるさ
と教育っていうことで、まあ
絶対帰つて来いとは言いま
せんが、何か、あぁいい所
だったなあと思つて、将来
帰つて来ていただけるよう
な、そんな教育をしたい。
それと、ここは少人数学級
の最たるものなんで、いい
教育をして、ここだったら
都会と遜色がないという、
しかもコロナとかの心配と
かもあまりないという、そ
ういう良さをわかつていた
だいて、引きつけるような
ことをやっていきたい。

◇町営バスはあるのですか。町民の足の確保は

町営バスで、日野交通さんに委託してやっていただいています。ただ、ここも従業員さんがなかなか確保できないというところがあります。とりあえず来年度はやってはいただけるんですが、バスの大きさに乗っている人が少ないので、やり方を変えようかと思っています。

◇職員はgood job缶バッジはいつから始められたのですか

去年の10月からやり始めました。やっぱり職員の意識改革とか生産性の向上とか、いろんな本を読んだんです。全日空さんはカードを渡しているんです。4万人だけ社員がいて、気が付いた良いことをそこに書いてあげるらしいんです。それが1年間に25万枚だか、すごくカードが行き交ったというのを見ました。だいたい役所って褒めることをしない。だから、良いことを見つけて褒めてあげてやる気になってもらうっていう、そんな風土をつくりたい。実は、町民から、本当に

6路線あるんですが、主に使われるのが通院と通学です。時間帯を絞って運行し、空いたところは町営タクシーにしようかと。小ぶりの車にして、バスの運転手さんがタクシーも運転する。これは令和3年度から。いま、タクシーは日野交通さんに江府町には1台だけ来て回ってもらってますが、地域交通ってすごく大事なんです。これも行けなくなると、どこにも買物は移動販売もやっていて、楽しみに待ってられる方もありますけど、診療所なんかは来ないとダメなんです。

丁寧に教えてもらったというのが葉書で来たたりと、直接会って聞いたりとか、あるなかなかならぬ、全体には拡がらないので、やっぱりみんなに教



good job缶バッジ

えてあげた方が良いのかなっていうことで、実はこれはその都度出しているの、庁内会といつて月に1回やる時に発表してもらっています。12月の仕事納めの時に、その年に一番多く集めた人には何かあげようという企画があります。未だ

旧溝口町(の庁舎)が新しくなつてすぐに合併したので、ほとんど使っていない議場セットが残っていて、それをタダで使わせてもらうことにしました。(議会は年間60日しか使わないので、その時に議場セットを置き、あとは公民館機能にするとのことです)



江府町役場新庁舎について
2階議場兼多目的室
▲2階議場兼多目的室は公民館機能を有し、議場としてのみならず多目的に使用することができます。

◇新しい庁舎のコンセプトはなんですか

「みんなが自由に利用でき交流を生む多目的スペース」です。ちなみに、今のこの庁舎は全ろうあ連盟の「咲む」という映画で使われています。

「コロナの影響を肌で感じる

学生食糧支援

民青同盟鳥取県委員会は、学生の実態を調査したり、声を集めながら、厳しい状態に置かれていることを知りました。このような学生のために「何かできることはないか」を考え、全国で行われている「学生食料支援(以下フードプロジェクト)」を鳥取でも開催しようと考えました。民青だけでなく、いろんな人も参加できるようにと「フードプロジェクト実行委員会」を立ち上げ、いろんな団体や個人からの協力を得て活動しています。

現在、フードプロジェクトは三回開催しています。最初は実際どうなるか不安はありました。鳥取県はコロナの影響が比較的大きくなり、「本当はそこまで困っていないんじゃないか」とも考えました。しかし、実際開催してみると、予定していた開催時間前からチラシを見てきたという学生が来場したり、開催時間に

なると学生がほほ切れ間なく来て、食料を受け取って帰っていくなど、これだけ学生がいたのかと驚く人数でした。アンケートにも協力してもらい、「助かりました」「ありがたうございます」の声と共に、「コロナによってバイトが無くなり、生活が苦しくなった」「オンライン授業ばかりで学力がついていないか不安」「就職ができるかわからない」などの、コロナによって困っている声も聞き、コロナの影響が確実に学生を苦しめていることを肌で感じました。同時にこのフードプロジェクトの活動は学生とともに関わり合っていると感じ、活動に重要性を感じるものになりました。

三回開催しているフードプロジェクトですが、回を追うごとに来場数が増えてきています。第一回は五十四人、第二回は八十五人、第三回は百六十二人が来場しています。どの回も予想数を超えているため、追加の買い出しをしないといけないなったり、最後にはなくなったり配れなくなったりします。できるだけ多くの学生に食料が渡れば良いと考えています。

この活動にはボランティアで大学生の協力があります。自分たちが困っている当事者でありながら、「助けて」という思いで、会場の運営や実行委員会会議



食料を受け取る学生ら

コロナ禍から
食料支援プロジェクト

全国の民の力で実現中!

食料支援プロジェクト

約100名以上の1万人以上の食料を配布

ボランティア大募集!

2021年は総選挙の年

7年8ヶ月の長期にわたった安倍政権に代わり、菅政権が誕生しました。

秋田の片田舎出身で、世襲ではなくたき上げのパンケイキが好きで庶民宰相というイメージで高い支持率を得ていた菅首相でしたが、強権的で排他的な政治姿勢と、コロナウイルス感染症対応の拙さが明らかになるにつれ、国民の怒りとともに支持率も低下しつつあります。

この間の新自由主義的な政策によって拡がった格差社会や社会保障の後退を元に戻し、私たち一人ひとりの命と健康が大切にされ、人間らしく働いて暮らせる社会の実現が求められます。

革新懇の「三つの共同目標」がいよいよ現実味を帯びる情勢となるなか、革新懇の会員とニュース読者を増やし、2021年の総選挙で政権交代をかちとりましょう。

(編集部)

「困りごと何でも電話相談会」

新型コロナウイルスで、雇用や暮らし、事業経営などに大きな影響が出ています。「収入が減って生活が厳しい」「事業が続けられない」「病院に行けない」「学費が払えない」「雇用契約を打ち切られた」等々、困りごと相談をお受けします。

日時:12月27日(日)13時~19時
電話:フリーダイヤル
0120-378-060
0120-333-286
相談無料・秘密厳守
お気軽にお電話ください
鳥取県社会保障推進協議会